

院内がん登録データ利活用への取り組み

～兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 実務者ミーティングの活動報告～

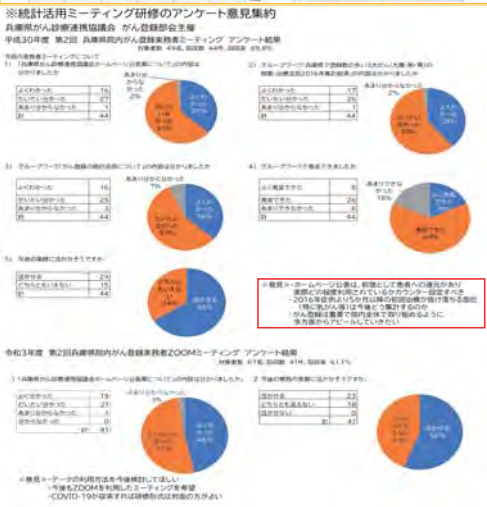
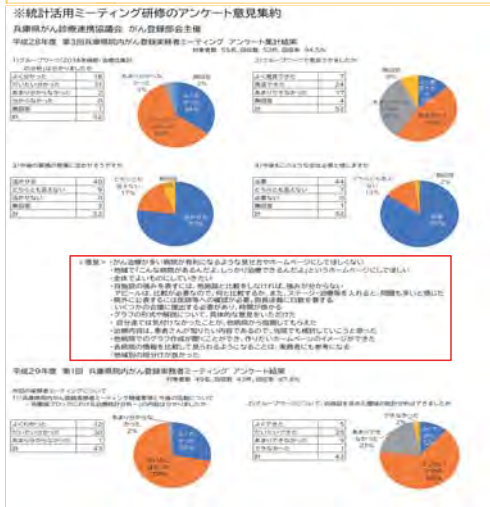
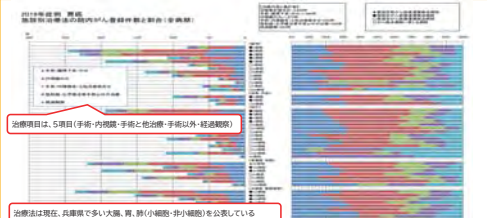
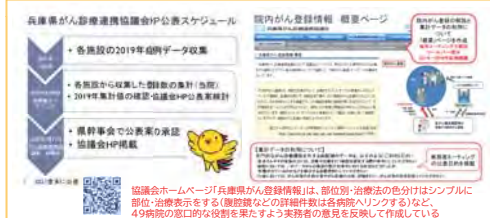
兵庫県立がんセンター 姫路赤十字病院
山口 真理子、栗原 有知子、西尾 渉 安東 正子

【目的】 兵庫県がん診療連携協議会(以下、協議会)では、院内がん登録の精度向上のために、実務者の育成とデータ集計・分析などを行っている。平成26年度より、院内がん登録実務者ミーティング(以下、ミーティング)を開催し、研修や情報活用の検討を開始した。8年間で21回開催したミーティングで行った取り組みを報告する。

【結果】 開催内容は、各病院が国・県と比較して自施設の特徴を発表するなどの統計演習や情報活用・ホームページ公表についてグループワークや全体討議で検討した。ホームページは、目的を明確に検討したことで全病院の窓口とする集計方法に決定した。各病院よりデータを集約し、協議会で承認を得て公表した。非公表病院も年々減少している。ミーティング開催後、毎回アンケート実施結果集計を実務者に還元した。アンケート結果は、参加者数のべ1,343名、回収率85.3%であった。ホームページは、相談支援センターで病院の選択など問い合わせの参考にも活用されている。

【方法】 県内49拠点病院を対象にミーティングを年2～4回定期開催した。平成28年より年1回院内がん登録数と治療集計の集約と協議会ホームページ「兵庫県がん登録情報」(以下、ホームページ)の公表を行った。アンケート集計よりデータ利活用に対する意見を集約した。

開催年度	開催日	開催内容	参加者数
2014(H26)年度目標			
第1回	H26.5.14	最新・情報活用・自施設ホームページ公開について	56
第2回	H26.9.26	がん登録対象、標準登録項目、院内協力体制について	51
第3回	H26.12.19	2012年全県集計データを活用して自施設データと比較グラフを作成してみよう	51
第4回	H27.2.26	前回グラフより、自施設の統計分析、近隣病院との比較検討	45
2015(H27)年度目標			
第1回	H27.5.11	「調査」5大がん登録に関する臨床と登録・多量がんについて	89
第2回	H27.8.6	東播がんと、5大がん以外の精度でどう連携検討会	61
第3回	H27.12.9	がん登録分析プレゼンテーション(「調査」がん登録における生存率の基礎)	49
第4回	H28.2.26	「調査」標準登録項目について 新登録項目と連携マニュアルについて	64
2016(H28)年度目標			
第1回	H28.5.11	「調査」匿名化処理技術、適切な匿名法の要点点について 新標準登録項目について「SEER2007(重層がん登録)について	74
第2回	H28.11.15	「調査」各病院の院内がん登録と登録の集約の集約の集約 がん診療連携協議会のホームページを活用し、県内がん登録集計と公開内容の検討	55
第3回	H29.2.24	「調査」1. 2014年全県がん登録数と治療集計の集約の集約の集約 2. 2016年全県がん登録数と治療集計の集約の集約の集約 3. 2016年全県がん登録数と治療集計の集約の集約の集約	55
2017(H29)年度目標			
第1回	H29.5.24	「調査」がん登録集計の集約の集約の集約 標準登録項目について「SEER2007(重層がん登録)について	49
第2回	H29.15	「調査」がん登録集計の集約の集約の集約 標準登録項目について「SEER2007(重層がん登録)について	76
第3回	H30.2.14	兵庫県がん診療連携協議会ホームページ公表実施検討(2015年集計)	47
2018(H30)年度目標			
第1回	H30.11.30	「調査」SEER2007(重層がん登録)について 統計活用) 2016年全県がん登録数と治療集計方法の活用	76
第2回	H31.2.1	1. 併せている内容検討 2. 追加-部分の2016年全県がん登録数と治療集計方法	49
2019(H31)年度目標			
第1回	R1.9.11	「調査」2019年集計からのルール変更・多量がんの概要など	84
第2回	R2.2.14	2017年全県がん登録数と治療集計の集約の集約の集約 がん登録集計と治療集計の集約の集約の集約	51
2020(R2)年度目標			
第1回	R3.2.14	「調査」がん登録集計の集約の集約の集約 標準登録項目について「SEER2007(重層がん登録)について	65
2021(R3)年度目標			
第1回	R3.11.19	「調査」2018年全県がん登録数と治療集計の集約の集約の集約 標準登録項目について「SEER2007(重層がん登録)について	129
第2回	R4.2.9	「調査」2018年全県がん登録数と治療集計の集約の集約の集約 標準登録項目について「SEER2007(重層がん登録)について	67
合計		統計活用・公表について検討した集計集約(11回)、ZOOMオンライン研修(2回)、他講習集約など	合計 1,343



【結論】 ミーティングやアンケート集計を次の研修や集計方法に反映させることによって、実務者の意識改革やホームページの公表実現などに繋がった。また、各病院のデータ公表と統計活用は、実務者の登録精度の見直しに繋がって、データ集約が浸透してきた。公表した登録数と治療集計は、全病院を圏域ごとに表示し、詳細情報ページで各病院の特徴をアピールできるようにした。治療内容も手術・手術以外で色の区別をすることにより病院の治療選択アドバイスとなる情報提供に活用され、近隣病院の身近な選択肢に繋がっている。

【日本がん登録協議会 第31回学術集会 COI開示】 筆頭演者名：兵庫県立がんセンター 山口 真理子
当演題発表に関して、開示すべきCOIはありません。